

●鳥の糞に擬態するカトウツケオグモ(*Phrynarachne katoï*)



カトウツケオグモはカニグモ科ツケオグモ属に属する熱帯系のクモの一種で、クモの専門家の間では、「日本の七大珍種グモ」の一つとされています。愛知県では絶滅危惧ⅠB類に分類されており、採取自体も少ないです。今回は、豊田市の里山で、アオキの葉上にいたものを撮影しました。

●カトウツケオグモの擬態(攻撃型擬態と化学擬態)



カトウツケオグモは、鳥の糞に擬態して、餌となるハエの仲間を呼び寄せています。このような擬態を「**攻撃型擬態(ペッカム型擬態)**」と呼びます。更に、鳥の糞の臭いに似た成分も体内から放出させ、ハエの仲間を臭いで誘引している事も示唆されており、見た目だけでなく、臭いでも鳥の糞に擬態している可能性があります。このような擬態を「**化学擬態**」と呼びます。実際に嗅いで見ると、何とも言えない不快な匂いがしました。

●葉の上のカウツケオグモ



カウツケオグモは、葉の上に糸を綴り、台座を設えて、この上で獲物を待ち受けます。カニグモの仲間らしく、獲物を待ち受ける時は、第1脚、第2脚を広げた状態で静止していました。